水道水汚染と活性炭

――放射性ヨウ素は活性炭である程度吸着できる（取り除ける）――

※石川県の志賀原発問題に取り組んでいるグループのMLからの情報です。

★ヨウ素をすべて除去できるわけではありませんが、ある程度は吸着できるようです。

★少しでも減らせることは有効です。

※すでにご存知と思いますが、東京都の水道水から基準（200Bq/kg)を超える210Bq/kgのヨウ素131が検出されました。放射性要素は、成長に関係の深い甲状腺にたまる性質がありますので、成長途中で、細胞分裂が盛んな胎児や子供たちに大きな影響を与えます。

※対策としては、被爆前か直後にヨウ素剤を飲むことで、80～90％吸収を阻止できるそうですが、ヨウ素剤を準備している自治体は少ないのが実情です。

※また、海藻類、特に昆布にはヨウ素が豊富に含まれており、日ごろから海藻を食べるようにすることで、放射性ヨウ素の吸収を少なくする効果があると言われています。（甲状腺にヨウ素がたくさんあることで、放射性ヨウ素が入りにくくなる）

水道水が汚染された時、どうしてもそれを飲まなければならない時には、放射性ヨウ素は活性炭である程度吸着できる（取り除けるか）そうです。チェルノブイリ救援にあたった河田昌東さん（元名古屋大学分子生物学教授）は次のように答えています。

∞∞

たくさんの方々から、どうすればよいのか、と質問が来ています。

(1)<u>汚染水1リットルに粉末活性炭　1gを入れて1晩置く。ろ過して使用する。これでかなり取り除けるはずです。</u>

※活性炭は、冷蔵庫の脱臭剤や金魚の水槽の水をきれいにするために使われています。よく洗って、お茶用のパックなどに入れると使いやすい。

※活性炭のつぶを濾過（こす）するためには、コーヒーフィルターが使えます。底に沈殿物（細かい粒）がたまるようでしたら、フィルターを2重にすると効果があります。（コーヒーフィルターで放射写生物質が減るわけではありません。）

(2)ヨウ素を吸着した活性炭の取り扱いについて

吸着した活性炭は当然放射能を濃縮しますが、水道水混入程度なら、3ヶ月も保管すればそのまま廃棄できるでしょう。（放射性ヨウ素は8日間で半分になりますので、3ヶ月たてば、ほとんど消えるからです。）

しかし、セシウム137が入っていれば処分は困ったことになります。

＊セシウム137を吸着した活性炭は　金属の容器にいれて、ベランダの隅にでもしばらく置いておくしかないのではないでしょうか。（セシウム137が半分になるには100日かかります）

放射性ヨウ素やセシウムは身体の外にある場合はあまり問題はありません。